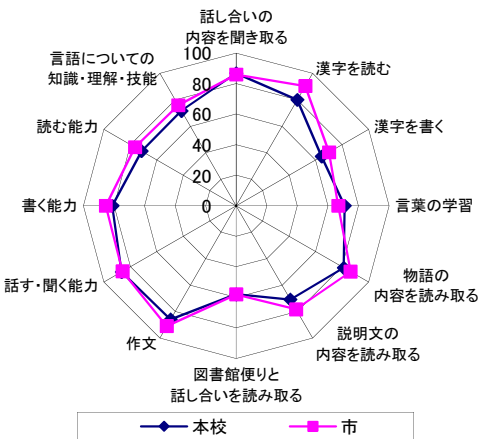


宇都宮市立海道小学校 第6学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	86.7	85.9
	漢字を読む	80.0	90.4
	漢字を書く	64.5	70.1
	言葉の学習	71.0	66.9
	物語の内容を読み取る	81.3	86.5
	説明文の内容を読み取る	71.0	78.4
	図書館便りと話し合いを読み取る	58.0	58.1
	作文	86.0	91.0
観点別	話す・聞く能力	86.7	85.9
	書く能力	81.2	85.4
	読む能力	71.6	76.6
	言語についての知識・理解・技能	71.7	76.0



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	○宇都宮市と比べ平均正答率が高いが、ほぼ同等である。話し手の意図を考えながら内容を聞いたり、自分の立場や意図をはっきりさせながら自分の意見を話すことに関する正答率は、市の平均正答率と比べてやや下回っている。しかし、話し手の話し方の工夫を考えながら内容を聞き取ることに関しては、大きく上回っている。	・朝の会のスピーチタイムでは、自分で伝えたいことを明確にして話したり、話し手の気持ちを汲み取って聞いたりできるように充実させていく。 ・授業においても、お互いの思いや意図を汲み取りながら意見を交わし合うことができるよう、小グループでの話し合い活動の機会を多くしていく。
漢字	○宇都宮市と比べ平均正答率は下回っている。6学年配当漢字の読みに関しては正答率が高いが、5学年配当漢字の読み書きに関しては、正答率が低い。	・6学年の漢字とともに、既習の漢字についてもさらに繰り返し練習し習熟させるよう努める。
言葉の学習	○宇都宮市と比べ平均正答率はやや上回っているが、俳句の理解についての正答率だけが下回っている。 敬語の使い方についての理解は、尊敬語と謙譲語ともに上回っている。	・今後も、地域の方やボランティアの方々との交流を通して、適切な敬語を活用できるようにしていく。 ・俳句については、季語についての理解を深め、多くの作品とふれあうことで、感性を深めていく。
物語の内容を読み取る	○宇都宮市と比べ平均正答率は下回っている。特に、登場人物の様子を読み取りについての正答率が低い。	・登場人物の心情の読み取りと同様に、様子の読み取りについても詳しく読み取れるように、様子を表す表現や時間の変化を表す表現などに着目しながら読み取りの学習を進めていくようにする。
説明文の内容を読み取る	○宇都宮市と比べ平均正答率は下回っている。文と文のつながりや段落のまとまりを考えながらの読み取りについての正答率が高いが、文章の内容を的確に押さえながらの読み取りについての正答率は低い。	・文章の構成を考えながらの読み取りについては学習の成果が出ているので、言葉の意味を正しくおさえたり、筆者の意図を読み取ったりなどの指導に力を注ぎ、より正確に説明文を読み取れるようにしていく。
図書館便りと話し合いを読み取る	○宇都宮市と比べ平均正答率はほぼ同等である。資料を正しく読み取り、適切にまとめることに関しては、市の平均正答率をやや上回っているものの、低い結果であった。	・国語や社会、総合的な学習において、図書資料やインターネット資料をもとにまとめる学習をする際、自分の意見を示すのに必要な情報を取り出したり、それをもとに適切にまとめたりすることについてより丁寧に指導していく。
作文	○宇都宮市と比べ平均正答率は下回っている。自分の意見を書くことに関しては正答率が100%であったが、二段落構成で文章を書くことについての正答率が低かった。	・今後も日記指導を継続し、自分の意見がしっかり表現できるようにしていく。 ・これまでの学習で、三段落構成で文章を書くことを基本として学んできたが、指示された段落構成で書けるように、段落の意味を理解した上で文章を書けるように指導していく。